

TOEFL Junior®を受験している高校生対象

なぜ、高等専門学校で TOEFL Junior®を導入したのか

神山まるごと高専 講師
一般社団法人 国際教育英語試験協会アドバイザー
廣瀬智子

TOEFL Junior® テストの形式

対象	中高生
受験方式	PBT (Paper Based Testing) …マークシートを使用した試験方式 または CBT (Computer Based Testing) …パソコン・タブレットを使用した試験方式
設問数	126問
試験時間	約115分
スコアレンジ	リスニング 文法・語彙 リーディング各セクション200~300
スコアレベル	1: Emerging~5: Superior
CEFR	A1~B2 (CEFR公式マッピングはA2~B2)
採点	項目応答理論を用いてコンピュータで採点

© 2017 Kumon Institute of Education Co., Ltd. (<https://www.toefl-junior-primary.jp/guid/junior/>)

目次

1. 導入の背景	p.2
2. なぜTOEFL Junior®なのか	p.2
2.1. 信頼性と方向性の一致	p.3
2.2. 学生に適したレベルと発展性	p.3
2.3. 実施のしやすさ	p.3
3. 出題内容と授業との関連	p.3
4. 活用状況と今後の展望	p.4
5. おわりに	p.4
参考資料	p.5
A) Listening (リーディング セクション)の例題+解答・解説	p.5
B) Language Form and Meaning (文法・語彙セクション)の 例題+解答・解説+コメント	p.8
C) Reading (リーディング セクション)の公式問題集・模擬テスト 1回分の長文問題語数比較、例題+解答・解説	p.12

1.導入の背景

神山まると高専は2023年4月に開校し、2026年2月現在3学年に約120名の学生が在籍しています。本校のミッションは「テクノロジー × デザインで人間の未来を変える」です。そのためには、学生が専門分野の知識を活かしつつ、英語で自分の考えを表現し、他者と議論できる力が欠かせません。英語のカリキュラム設計にあたり最も重視しているのは、「言語力と思考力を同時に伸ばす」という視点でした。

私自身、大学で英語を専攻していたにもかかわらず、初めての海外で How are you? に自然に反応できず、What do you think? と問われても言葉が出なかった苦い経験があります。知識としての英語を学んでいても、自分の考えを組み立てて伝える力を育ててこなかった。この経験は長らく私のコンプレックスであり、英語の授業をデザインする者として「学生たちには同じ思いをさせたくない」という強い問題意識につながっています。

ただし、EFL環境でこの目標を達成する

のは容易ではありません。これは共通のチャレンジかと思いますが、本校でも学生の英語力には大きな幅があります。中学校英語に不安を感じる学生から英検準1級レベルまでが同じクラスに集まります。そこで授業では、基礎知識の定着を重視する活動と、自分の考えを表現する活動を半分ずつ取り入れ、ボトムアップとトップダウン双方のアプローチを組み合わせています。成績も筆記試験とパフォーマンステストを半分ずつにし、卒業時には最低でもCEFR B1以上に到達することを目標にしています。「将来やっぱり英語が必要だ」と思い立ったときに再び自律的に学べるレベルを目指しています。

学生たちの可能性が「英語」という理由で狭まることだけは避けたい。その思いから、カリキュラムの成果を客観的に示す指標、そして学生自身が自分の力を客観視できる指標が必要でした。こうした背景から、導入したのがTOEFL Junior®でした。

2.なぜTOEFL Junior®なのか

現状、多くの高専では外部試験としてTOEIC®が広く活用されています。日本での認知度や就職・編入活動での活用度を考えれば、その有効性は疑う余地がありません。一般的にTOEIC®はbusiness English、TOEFL®はacademic Englishというふうに捉えられることも多いと思います。ここで私が強調したいのは、TOEFL®とTOEIC®を対立させたいわけではない、という点です。英語は英語で

あり、academicであれbusinessであれ、まず基盤となる言語力をしっかり身につければ、あとは必要な場面に応じて表現や語彙を学ぶだけで対応できると私は考えています。その上で、TOEFL Junior®を選んだ理由を、3つ挙げます。

2.1. 信頼性と方向性の一致

TOEFL®は世界200カ国、13,000以上の機関で利用され、累計4,000万人以上が受験している国際的に信頼性の高い試験です。作問元のETSは300以上の査読付き研究を発表しており、妥当性と信頼性の裏付けは抜群です。TOEFL iBT®は「英語ができる」だけでは解けない試験であり、まさに「言語力と思考力」の両輪が求められます。TOEFL Junior®もそのFamily of Assessmentsの一部として位置づけられ、本校が目指す方向性と長期的に見ても一致しています。

2.2. 学生に適したレベルと発展性

TOEFL Junior®はCEFR B2までを測定可能で、英語に苦手意識のある学生も頑張れば理解できるかもしれない、と思える問題になっています。また、出題の背景は学校生活や身近な題材が多いことから、学生の力を自然に引き出してくれやすい試験だと感じています。合否がないため外部試験への入り口として取り組みやすい点も大きな魅力です。

TOEFL Junior®のスコアをきっかけにTOEFL iBT®に挑戦したり、スコアアップを

自信に英検準1級の勉強を始めた学生もいます。狙い通り、「次のステップへの入り口」として機能し始めています。

私自身も受験しましたが、「あ、この問題なら学生も手が届きそうだ」と感じる一方で、「B2を超える壁の厚さ」も実感しました。その実感とスコアをもとに、学生にあった声をかけられるのは大きな利点です。

2.3. 実施のしやすさ

同じ範囲を測れる他試験と比べても費用は安価※1です。実施形態も柔軟で、本校では授業2コマを使って1、2年生は全員受験をしています。課外活動で忙しい学生に、放課後や休日に集まって受験しよう、というのは現実的ではありません。導入した背景でも説明しましたように、全員が受けることのできる環境を整えたいと考えておりますので、授業時間内で受験できる点は大きなメリットでした。

※1準会場の詳細と受験料について

<https://www.toefl-junior-primary.jp/group/#fee>

3. 出題内容と授業との関連

今まで述べてきたように、高専1年生から同じ指標で「学習の成果を確認する」ことを始めるには、身近で、授業で扱う内容との親和性が高いTOEFL Junior®から始めてみることも有効な選択肢であると考えます。このセクションではTOEFL Junior®の問題について、私が本校で行っている授業内容との関連性や高専で良く活用されているTOEIC®との比較

にご興味がおありでしたら巻末の参考資料をご覧ください。

● Listening (リスニング セクション)

学校生活が題材で、多くの会話やディスカッションは約1分40秒～2分と長めです。背景知識の有無に左右されにくく、解答時間も約12秒あり、純粋なリスニング力を測定できます。

1年次から長い音声を聞くことに慣れることで、授業や留学、他試験への耐性も高まると感じています。

● Language Form and Meaning

(文法・語彙 セクション)

TOEIC®語彙のPart5,6の様に語彙・文法の両面を扱っていますが、文法を問う問題のバラエティが豊富です。これらの問題は私にとっては授業の焦点設定にヒントを与え、学生に

は「正しい英語感覚」を育むきっかけを与えるになることを期待できます。

● Reading(リーディング セクション)

問題数は少ないものの一題あたりの分量が多く、論理的な読解を促します。TOEIC®より一つの文章が長いことが多く、早い段階で大量インプットに慣れる効果が期待でき、Listeningで述べたようなメリットがあると考えます。

4. 活用状況と今後の展望

同じ学生グループの2年間のスコア比較では、平均で29点の向上が見られました。特にLanguage Form and Meaningで測られるスキルは授業で扱う時間が少なかったため伸びが限定的でしたが、逆に改善の余地が明確になったとも言えます。今年度は語彙学習課題や音読活動を追加し、正しい英語感覚の定着を意識しています。

また、学生がCEFRを用いて自ら目標を

設定するようになったのも成果です。「点数のための勉強」ではなく、英語を使う場面を意識した学習へとつながっていくことを期待しています。

今後は、可能な限り授業設計の一部として全員受験を継続しつつ、高学年では希望制も取り入れる予定です。さらに、個人のスコア推移や学校成績とのクロス分析を進め、カリキュラム改善に役立てたいと考えています。

5. おわりに

TOEFL Junior®の導入は、学生の現状を把握し、次のステップへとつなげる効果的な指標となりつつあります。英語力と思考力を同時に伸ばすという本校の英語カリキュラムの目標達成と、学生の可能性を広げる道具として今後も活用していきたいと考えています。

「高専生の英語力をどう伸ばすか」という共通の課題を持つ私たちにとって、TOEFL

Junior®の活用は一つの有効な選択肢になるのではないのでしょうか。

A) Listening (リーディング セクション)の例題 + 解答・解説

(TOEFL Junior®テスト公式問題集 [改訂版] 解答・解説 pp.18-20)

18~21

Track 19

🔊 Listening Script

Narrator: Questions 18 through 21. Listen to a conversation between a teacher and a student.

ナレーター: 問題 18 ~ 21。先生と生徒の会話を聞いてください。

Girl: Excuse me, Mr. Sonder. May I ask you a question about the final project?

女子: すみません、Sonder 先生。最終プロジェクトについて質問してもよろしいですか？

Man: Sure. What's your question?

男性: もちろん。質問は何か？

Girl: Well, during class today you announced that our final project will be on ancient civilizations such as the Egyptians, the Mesopotamians, and the Chinese.

女子: えーと、今日の授業中、私たちの最終プロジェクトはエジプト人、メソポタミア人、中国人といった古代文明に関するものだと発表がありました。

Man: That's right. Since we could only survey each briefly in class, I wanted to give you all a chance to study at least one of the civilizations in depth. Are you worried about it?

男性: その通り。授業ではそれぞれを簡単に調査しただけだったので、みんなに少なくとも1つの文明を深く学習する機会を与えたかったんだ。心配なことでもあるかな？

Girl: No, not at all. I'm actually very interested in pyramids and everything, but the ones I'm most excited about are ones that you hadn't mentioned, the ones from the ancient Mayan culture. You see, my parents are from Yucatán, Mexico, and my grandparents still live there. In fact, I'll be going there to visit them over spring break. So I was wondering...

女子: いいえ、まったくありません。実際、ピラミッドやすべてのものにとっても興味があるのですが、私が特にわくわくするのは先生がおっしゃらなかったもので、古代マヤ文化のものです。あの、両親はメキシコのユカタン半島出身で、祖父母は今なおそこで暮らしています。実は、春休みに祖父母に会いにそこへ行く予定です。それで、考えていたことがありまして...

Man: OK, I get it. You'd like to know if you could do your project on Mayan history since you can actually visit their ruins, right? Absolutely! That would be fantastic!

男性: なるほど、わかった。実際に遺跡を訪れることができるからマヤ族の歴史に関するプロジェクトを行えるかどうか知りたいんだね？もちろん！素晴らしいことだよ！

Girl: Really? Oh, that's great! I'll visit the ruins and bring back all kinds of souvenirs to show everyone in class!

女子: 本当ですか？ ああ、よかった！遺跡を訪れてクラスの人々に見せるあらゆる種類のお土産を持ち帰ります！

Man: I'd like that a lot, Amy. Just remember though, you still have to follow the guidelines about completing the project. You should start with a research question, gather facts based on evidence, and document all your sources.

男性: ぜひそうしてほしいよ、Amy。でも、覚えておいて。それでもプロジェクトを完成させることについてのガイドラインに従わないといけない。研究課題から始め、証拠に基づいて事実を集め、すべての情報源を記録するべきだよ。

Girl: Don't worry, Mr. Sonder. I'll make sure I do all that—and more!

女子: 心配いりません、Sonder 先生。必ずそれらすべてのこと、いえ、それ以上のことをします！

Narrator: Now answer the questions.

ナレーター: それでは、問題に答えてください。

Narrator: Number 18. What are the speakers mainly discussing?

Narrator: Number 19. What subject does the teacher most likely teach?

Narrator: Number 20. Where is the girl's family originally from?

Narrator: Number 21. What does the girl mean when she says, "So I was wondering"?

ナレーター: 18番。話し手たちは主に何について話し合っていますか？

ナレーター: 19番。先生はおそらく何の教科を教えていると考えられますか？

ナレーター: 20番。女子の家族は元々どこの出身ですか？

ナレーター: 21番。女子はどのような意図を持って、「それで、考えていたことがありまして」と言っているのでしょうか？

18. 話し手たちは主に何について話し合っていますか？

- (A) クラスが計画している旅行
- (B) 生徒の最終プロジェクトのトピック
- (C) 学校主催の地域イベント
- (D) 生徒が完成させる必要があるいくつかのやりそこなった課題

19. 先生はおそらく何の教科を教えていると考えられますか？

- (A) 美術
- (B) 理科
- (C) 歴史
- (D) 文学

20. 女子の家族は元々どこの出身ですか？

- (A) エジプト
- (B) 日本
- (C) 中国
- (D) メキシコ

21. 女子はどのような意図を持って、「それで、考えていたことがありまして」と言っているのでしょうか？

- (A) 課題を変更したい。
- (B) 別のクラスメイトと一緒に作業をしたい。
- (C) 先生に延長を頼みたい。
- (D) 先生に授業をわかりやすくしてほしい。

解説

18. 要旨をつかむ問題です。正解は (B) 生徒の最終プロジェクトのトピック、です。会話の間ずっと、女子と先生は、最終プロジェクトの課題と女子がどんなトピックに焦点をあてたいのかについて話し合っています。女子はメキシコの祖父母を訪れることを計画していますが、クラスは旅行に行く計画をしていないので、選択肢 (A) はあてはまりません。地域イベントに関する言及がまったくないので、選択肢 (C) は誤りです。生徒はクラスの課題をやりそこなっていないので、選択肢 (D) もまた誤りです。

19. **推測する問題**です。先生のクラスの最終プロジェクトは古代文明に関するもので、女子は古代マヤ文化とその歴史に関するプロジェクトを行いたいと思っています。これは先生が歴史を教えていることを示唆しているので、選択肢 (C) **歴史**、が正解です。美術、理科、文学は述べられていないので、選択肢 (A)、(B)、(D) はすべて誤りです。

20. **詳細な情報を特定する問題**です。会話の中で、女子は「両親はメキシコのユカタン半島出身で、祖母は今なおそこで暮らしています」と言っています。正解は (D) **メキシコ**、です。女子は、古代文明の例としてエジプトと中国に触れていますが、自分の家族がどちらの国の出身とも言っていないので、選択肢 (A) と (C) は誤りです。日本は会話の中で述べられていないので、選択肢 (B) も誤りです。

21. **実際の意図をつかむ問題**です。課題は、エジプト人、メソポタミア人、中国人といった古代文明に関するプロジェクトを行うことですが、女子は古代マヤ文化に関するプロジェクトを行いたいと強く思っています。彼女はプロジェクトに対する自分のアイデアが容認されるのかどうか確かめるために「それで、考えていたことがありまして…」と言っています。正解は (A) **課題を変更したい**、です。女子は、クラスメイトと一緒に作業をしたいとも述べていませんし、課題を終わらせるのにより多くの時間を求めてもいませんので、選択肢 (B) と (C) はあてはまりません。彼女は先生に授業をわかりやすくするよう頼んでいないので、選択肢 (D) は誤りです。

B) Language Form and Meaning (文法・語彙セクション)の例題+解答・解説+コメント

(TOEFL Junior®テスト公式問題集 [改訂版] p.66 & 解答・解説 p.38)

PART 2

Questions 9–12 refer to the following announcement.

The French club

9. (A) just starts (B) just starting (C) has just started (D) was just started

a lunch group in the cafeteria. On Tuesdays and

Thursdays during lunch, students who wish to practice their French should

- | |
|--|
| 10. (A) hand in
(B) take after
(C) give up
(D) look for |
|--|

the table with the French flag. All conversations at the French table

- | |
|--|
| 11. (A) completely will be held
(B) will completely held be
(C) held completely will be
(D) will be held completely |
|--|

in French.

- | |
|--|
| 12. (A) The Spanish club
(B) It is the Spanish club
(C) While the Spanish club
(D) Because the Spanish club |
|--|

will be

starting a similar group next month.

問題9～12は以下の発表に関するものです。

フランス語クラブは、カフェテリアでランチグループを **9. 始めたばかりです**。毎週火曜日と木曜日の昼食時に、フランス語を練習したい生徒はフランス国旗のあるテーブル **10. を探す** べきです。フランス語テーブルでのすべての会話は **11. 完全に** フランス語で **行われます**。 **12. スペイン語クラブ** は来月、同じようなグループを始める予定です。

解説

9. 文法問題です。この問題は動詞の時制の知識を問うものです。正解は **(C) has just started** です。この発表の文脈から、クラブが最近始まって、現在活動していることが明らかです。よって、現在完了形の動詞「has just started」が必要です。選択肢 **(A)** は単純現在時制です。選択肢 **(B)** は現在進行時制の一部で、選択肢 **(D)** は受動態です。これらの選択肢のどれも活動の時制を正しく表していません。

10. 語彙問題です。正解は **(D) look for** です。この問題では、センテンスの意味が通るものにする句動詞を選ぶことが求められています。生徒たちがクラブの一員になるためには、正しいテーブルを探すべきだと言われているので、「to try to find (見つけようとする)」を意味する「look for」だけがこのセンテンスに合致します。その他の選択肢はこのセンテンスで正しい意味を表していません。

11. 文法問題です。正解は **(D) will be held completely** です。このセンテンスは、受動態構文 (be 動詞 + 過去分詞) で使われる適切な語順を問うものです。completely は文尾の in French を修飾するので、選択肢 **(D)** だけがこのセンテンスにおいて正確で、なおかつ意味を成します。

12. 文法問題です。正解は **(A) The Spanish club** です。この問題は、センテンスの主語となる名詞句を問うものです。選択肢 **(B)** は文全体で意味を成さないなので、センテンスの主語になりえません。選択肢 **(C)** は副詞節を導く接続詞 while で始まっているので文として成立しません。選択肢 **(D)** は因果関係を伝える接続詞「because」で始まっています。この場合、「because」は原因を表しますが、結果は何も述べられていません。よって、選択肢 **(D)** は不完全なセンテンスとなります。

コメント：

例1で私がユニークだと思う点は、選択肢に文法的に間違っているものが入っていることです。他の試験の選択肢では **(B)** や **(C)** の選択肢は見かけないと思います。自分で解きながら、十分なinputがあれば答えられるなとも感じました。受動態の語順を問う問題ですが、助動詞の位置や副詞が何を修飾しているのかまで考える必要があります。

PART 2

Questions 13–18 refer to the following article from a magazine about technology.

Some people depend on clothing

13. (A) their keeping
(B) they are kept
(C) to keep them
(D) it keeps them

safe while they are working.

Astronauts

14. (A) by working
(B) they work
(C) who work
(D) are working

outside of a spacecraft must wear special space suits to

protect their bodies.

15. (A) Even a tiny hole in the space suit
(B) The space suit has even a tiny hole in it
(C) There is even a tiny hole in the space suit
(D) Whether in the space suit, even a tiny hole

could create a loss

of pressure and cause a dangerous situation. In recent years scientists

16. (A) develop
(B) developing
(C) are developed
(D) have developed

space suits made of high-tech fabrics and gel. If the space suit gets a

small hole in it, the gel quickly spreads into

17. (A) a
(B) the
(C) any
(D) some

hole and closes it up. These space

suits also have tiny computers in

18. (A) it.
(B) this.
(C) they.
(D) them.

If a large hole is made in the suit, the tiny

computer sends a warning to the astronaut to move to safety quickly.

問題 13～18 は以下の科学技術についての雑誌の記事に関するものです。

仕事をしている間、**13. 自分を安全に保つために**、衣服に頼る人々がいます。宇宙船の外で **14. 作業する** 宇宙飛行士は、自分たちの身体を保護するために特別な宇宙服を着なければなりません。 **15. 宇宙服のとても小さな穴でさえ**、減圧をまねき、危険な状況を引き起こす可能性があります。近年、科学者は、ハイテクの生地とジェルでできた宇宙服を **16. 開発しました**。もし宇宙服に小さな穴が開いたら、ジェルがすばやく **17. その** 穴に広がって行き、それをふさぐのです。これらの宇宙服はまた、**18. それら** の中にとっても小さなコンピューターが入っています。もし服に大きな穴ができたなら、そのとても小さなコンピューターは宇宙飛行士にすばやく安全な場所に移動するように警告を送信します。

解説

13. 文法問題です。正解は **(C) to keep them** です。この問題は、「depend on clothing (衣服に頼る)」を修飾する不定詞の副詞句「to keep them」を選ばなくてははいけません。その他の選択肢はどれも、衣服がどのように人々を安全に保つかを文法的に正しい形で表していません。

14. 文法問題です。正解は **(C) who work** です。この文は **must wear** が動詞で、その前全部が主語となります。主語を構成する形として適切なのは選択肢 **(C)** で、どの宇宙飛行士が特別な宇宙服を着なければならないかを明確にする限定的関係詞節です。その他の選択肢はどれも、意味的にも文法的にも宇宙飛行士について言及する構造を含んでいません。

15. 文法問題です。正解は **(A) Even a tiny hole in the space suit** です。この問題は、センテンスの主語となる長い名詞句を問うものです。選択肢 **(B)** と **(C)** はそれ自身で完全なセンテンスとなっているので、このセンテンスの主語になりえません。選択肢 **(D)** は副詞句で始まるセンテンスの一部です。選択肢 **(B)**、**(C)**、**(D)** はこのセンテンスの主語として文法的に機能することができません。

16. 文法問題です。正解は **(D) have developed** です。この問題では、この文脈で正しい動詞の時制を識別することが求められています。このセンテンスは「recent years (近年)」の宇宙服の開発について述べていて、宇宙服は今日もなお使用されています。よって、過去と現在をつなぐ動詞「develop」の現在完了時制が使われるべきです。選択肢 **(A)** は現在形です。選択肢 **(B)** は動詞の現在進行形の一部で、選択肢 **(C)** は受動態です。選択肢 **(D)** だけが、この文脈で正しい時間軸を含んでいます。

17. 語彙問題です。正解は **(B) the** です。この問題では、センテンスの意味が通る語を選ぶことが求められています。このセンテンス中で前述の「hole (穴)」を指し、意味が成立するのは定冠詞「the」だけです。選択肢 **(A)** は前述の特定のものを指さないで意味を成しません。選択肢 **(C)** と **(D)** は、どちらもものの量を示す数量詞です。いずれも、このセンテンスで正しくありません。

18. 文法問題です。正解は **(D) them** です。この問題では、センテンスに文法的に適合する語を選ぶことが求められています。このセンテンスの主語は「space suits (宇宙服)」で、「in」は目的語が必要なので、正解は、前述の「space suits」を正しく指す目的格代名詞の複数形「them」でなければなりません。

コメント：

これは主語となる名詞句を選べるか、という問題です。このような長さの比較検討をして選択肢を選ぶ問題は他の英語の試験ではあまり見かけません。これらの問題はAuthentic inputや文法知識の定着の重要性を促してくれるものだと思っています。正しい英語感覚や文法知識はC1以上を測れる試験では前提条件となっていますので、TOEFL Junior®は入門の試験として大変有効だと思っています。

C) Reading (リーディング セクション)の公式問題集・模擬テスト1回分の長文問題語数比較、例題+解答・解説

(ワードカウントはChatGPTで実施)

	Junior	TOEIC
1	153	132
2	258	108
3	367	84
4	268	186
5	363	134
6	346	192
7	326	187
8		139
9		186
10		293
11		256
12		214
13		317
14		524
Total	2081	2952

PART 3

Questions 1–4 are about the following e-mail.

To: The Student Science Institute info@ssi.org
From: Ben Mason bmason@starnet.com
Date: March 12

I am a student at Avon Middle School. A friend of mine told me about the Student Science Institute and your summer classes for students. I am interested in studying the ocean. When I go to university, I plan to learn all about the animals and plants that live in the sea. Every year, my family goes to visit my grandparents. Their house is very close to the seashore. When I am there, I like to take walks with my grandparents along the beach. I try to identify seashells and seaweed. My parents gave me a book that helps me learn about the different kinds of plants and animals I find. If you have summer classes that teach students about ocean life, please send me some information about them.

Sincerely,
Ben Mason

PART 3

1. Why is Ben writing to the Student Science Institute?

- (A) He wants directions to the institute.
- (B) He wants help identifying a sea animal.
- (C) He wants to know the author of a book.
- (D) He wants information about summer classes.

2. What detail about his university plans does Ben mention?

- (A) What subject he wants to study
- (B) When he will be ready to attend
- (C) How his parents will help him
- (D) Which university he hopes to go to

3. In line 4, the word visit is closest in meaning to _____.

- (A) find out
- (B) help with
- (C) stay with
- (D) watch over

4. What does Ben do with his grandparents?

- (A) Go fishing
- (B) Take walks
- (C) Read stories
- (D) Help make dinner

1~4

問題1~4は以下のメールに関するものです。

宛先： The Student Science Institute info@ssi.org
差出人： Ben Mason bmason@starnet.com
送信日時： 3月12日

私はAvonミドルスクールの生徒です。友人の1人が、学生科学研究所と生徒向けの夏期講習について教えてくれました。私は海洋の勉強に興味があります。大学に行ったら、海にすむ動植物についていろいろ学ぶつもりです。毎年、私の家族は祖父母の家に泊まりに行きます。彼らの家は海岸のとても近くに 있습니다。そこにいるとき、私は海岸沿いを祖父母と散歩するのが好きです。貝殻や海藻の種類を見分けようとします。両親は、私が見つかるさまざまな種類の動植物について学ぶのに役立つ本をくれました。もし生徒に海の生き物について教える夏期講習があれば、情報をお送りください。

よろしくお願ひします。

Ben Mason

1. Benはなぜ、学生科学研究所にメールを書いていますか？

- (A) 研究所への道順が知りたい。
- (B) 海の生き物を特定するのに援助がほしい。
- (C) 本の著者が知りたい。
- (D) 夏期講習についての情報がほしい。

PART 3

Questions 9–12 are about the following story.

When I opened my eyes, Miranda was already awake. To my disappointment, she was wearing a blue shirt. Miranda and I have an agreement. Since it is so difficult for people to tell us apart, we have agreed not to dress alike.

Line “I was going to wear blue today,” I said.

5 “You should have gotten out of bed earlier,” Miranda replied. “Then you could have been the first dressed.” She looked tired, and I could tell she was grumpy and did not want to be bothered this morning.

“Maybe I’ll wear blue anyway,” I said.

10 But Miranda knew that I didn’t mean it. We both knew that dressing in the same color would confuse people. When we were little, Miranda and I thought it was funny when people mixed us up. We would giggle when someone called me by her name or referred to her as Diana.

In the past, we had even tried to mislead people as a joke, like in our dance class when we were six years old. For several classes, we had convinced the teacher that I was
15 Miranda. Just when the poor teacher thought she knew who was who, Miranda and I had switched back to our real names.

20 What was funny when we were six years old was annoying now. I was tired of politely correcting teachers who called me Miranda. And at least once a day, Miranda’s best friend, Tanya, would rush over and start to talk to me, even though we don’t know each other well. Sometimes even our own father looked and waited a moment before talking to one of us.

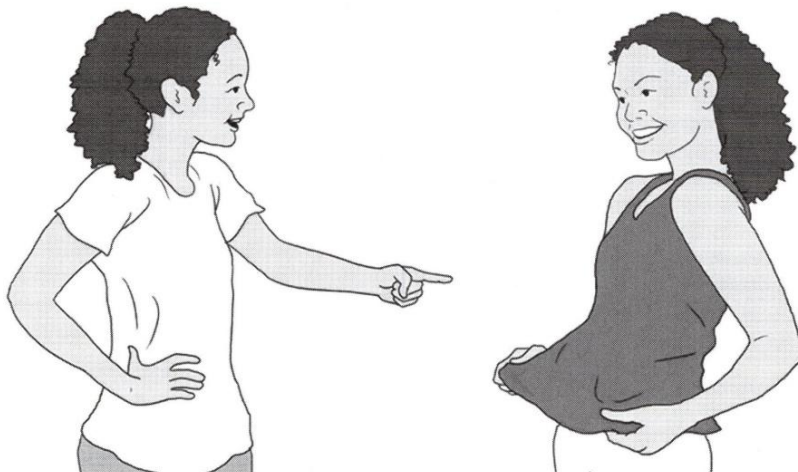
I turned to look at Miranda as I got out of bed. She still looked tired as she slowly brushed her hair. Then, she sat back down on her bed, putting her hand to her head.

“Actually, I don’t feel well,” she said.

25 “Are you sick?” I asked with concern.

“I think it’s just a cold,” Miranda answered. “But my head does ache. I think you’ll be going to school without me today. It looks like you can wear your blue shirt after all.”

30 My clothes didn’t matter to me that much, however. I thought about the day ahead at school without Miranda. I knew that when everyone learned that she was at home sick, nobody would mistake me for her. Strangely, I also knew that I would miss being called by her name.



9. Which title best summarizes the story?

- (A) Miranda's Mistake
- (B) Fooling Friends at School
- (C) The Battle over the Blue Shirt
- (D) Twin Sisters and Close Friends

10. In line 11, the word giggle is closest in meaning to _____.

- (A) mistake
- (B) explain
- (C) appear
- (D) laugh

11. In line 18, how does the narrator probably feel when talking about "politely correcting teachers"?

- (A) Frustrated that they often call her by the wrong name
- (B) Disappointed that she looks so much like Miranda
- (C) Angry that they do not think she is funny anymore
- (D) Afraid that she often annoys them

12. What will most likely happen next in the story?

- (A) The narrator will go to school alone.
- (B) The narrator will go to dance class with her sister.
- (C) Both girls will wear the same color shirt to school.
- (D) The narrator will stay home to take care of her sister.

9~12

問題9～12は以下のストーリーに関するものです。

私が目を開けると、Mirandaはすでに目を覚ましていました。がっかりしたことに、彼女は青色のシャツを着ていました。Mirandaと私にはある取り決めがあります。他の人が私たちを見分けることがとても難しいので、私たちは似たような服装をしないことに同意していました。

「今日は私が青色の服を着ようとしていたの」と私は言いました。

「もっと早くベッドから出るべきだったのに」とMirandaは答えました。「そうすれば、あなたが先に服を着られたでしょう」。彼女は疲れて見え、機嫌が悪くて今朝はわずらわされたくないと思っていることがわかりました。

「とにかく青色の服を着ようかな」と私は言いました。

しかし、Mirandaは私が本気でないことがわかっていました。私たちは2人とも、同じ色の服を着ることが周りを混乱させることを知っていました。幼いころ、Mirandaと私は、人々が私たちの見分けがつかないとき、おもしろいと思いました。誰かが私を彼女の名前で呼んだり、彼女のことをDianaと言ったりするとき、私たちはくすく

す笑ったものでした。

過去に、6歳のときのダンスクラスなどで、私たちは冗談で人をだまそうとしたことさえありました。数回のレッスンの間、私たちは先生に、私がMirandaだと思わせました。かわいそうな先生がちょうど誰が誰なのかわかったとき、Mirandaと私は自分の本当の名前に戻っていました。

6歳のときにはおもしろかったことが、今やいらいらすることになりました。私をMirandaと呼ぶ先生たちを礼儀正しく訂正することにうんざりしていました。それに、1日に少なくとも1回は、Mirandaの親友のTanyaが、お互いをよく知らない間柄なのに、駆け寄ってきて私に話し始めたものでした。時には、私たち自身の父親でさえ、私たちの一方に話しかける前にしばらく様子をうかがっていました。

ベッドから出るとき、私は振り返ってMirandaを見ました。ゆっくりと髪にブラシをかけながら、彼女はまだ疲れているようでした。そして、手を頭にあてながら、彼女はベッドに座り直しました。「実は、気分がよくないの」と彼女は言いました。

「病気なの？」と私は心配しながら尋ねました。

「ただの風邪だと思うわ」とMirandaは答えました。「でも、頭が痛いの。あなたは今日、一人で学校に行くことになると思うわ。結局のところ、あなたは青色のシャツを着ることができそうね。」

しかし、私の服装はそれほど重要ではありませんでした。私はMirandaのいないその日の学校でのことを考えました。彼女が病気で家にいることをみんなが知ったとき、誰も私を彼女と間違えることはないだろうとわかっていました。不思議なことに、私はまた、彼女の名前で呼ばれなくてさみしく思うだろうとわかっていました。

9. このストーリーを最もよくまとめている題名はどれですか？

- (A) Mirandaの失敗
- (B) 学校で友人をだますこと
- (C) 青色のシャツをめぐる争い
- (D) 双子の姉妹で親友

10. 11行目の単語giggleに最も近い意味を持つのは_____。

- (A) mistake (～を間違う)
- (B) explain (～を説明する)
- (C) appear (現れる)
- (D) laugh (笑う)

11. 18行目で、語り手が「先生たちを礼儀正しく訂正する」ことについて話しているとき、おそらくどんな気持ちでしょうか？

- (A) 彼らがしばしば彼女を間違った名前と呼ぶことにいらいらしている
- (B) Mirandaにととてもよく似ていることにがっかりしている
- (C) 彼らがもう自分のことをおもしろくないと思っていることに腹をたてている
- (D) 彼らをしばしば困らせることを恐れている

12. このストーリーではこの後、何が起こると考えられますか？

- (A) 語り手は1人で学校に行く。
- (B) 語り手は姉〔妹〕と一緒にダンスクラスに行く。
- (C) 両方の女子が同じ色のシャツを着て学校に行く。
- (D) 語り手は姉〔妹〕の面倒をみるために家にいる。

解説

9. 要旨をつかむ問題です。このストーリーの主題は、2人の姉妹がこれまでの人生でずっと親密な関係を保ってきた双子であるということなので、正解は(D) 双子の姉妹で親友、です。選択肢(A)、(B)、(C)はすべて、ストーリーの中で単発の出来事を表していますが、ストーリーの全体的な主題を捉えていないので、あてはまりません。

10. 同義語を選ぶ問題です。11行目の問題の対象となっている単語は「giggle」で、「laugh (笑う)」という意味なので、正解は(D) laugh、です。同パラグラフのその前の文で、この双子は人々が自分たちを混同したときにおもしろいと思ったと述べられています。選択肢(A)、(B)、(C)はこの文脈では意味を成さないなので、誤りです。

11. 推測する問題です。17行目で、Dianaは、幼いころ人々が姉妹を混同することがおもしろかったが、今や彼女にとっていらいらすることになったと述べています。よって、正解は(A) 彼らがしばしば彼女を間違った名前と呼ぶことにいらいらしている、です。ストーリーに含まれる詳細から連想しそうな内容ですが、選択肢(B)、(C)、(D)は述べられていないので誤りです。

12. 推測する問題です。最後の2つのパラグラフで、Mirandaは、Dianaがおそらく1人で学校に行くことになるだろうと述べ、語り手のDianaは、姉〔妹〕なしの一日がどのようなものになるかを考えています。よって、正解は(A) 語り手は1人で学校に行く、です。ダンスクラスは彼女たちが幼いころにしていたこととして述べられているだけなので、選択肢(B)はあてはまりません。2人のうち片方だけが学校へ行くので、選択肢(C)は誤りです。語り手は姉〔妹〕と一緒に家にいる可能性に触れていないので、選択肢(D)は誤りです。

参照資料

- 『TOEFL Junior®テスト公式問題集』 くもん出版グローバル・コミュニケーション & テスティング監修. (2025).
- Educational Testing Service, & 一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会. (2024). 公式TOEIC Listening & Reading問題集 11.

著者紹介

廣瀬 智子

所属：神山まるごと高専

学歴：国際教養大学専門職大学院英語実践領域修了

経歴：英会話学校ティーチングスタッフ、高知県公立高等学校教諭

保有資格：CELTA (Certificate in Teaching English to Speakers of Other Languages)

